

インバウンド（訪日外国人）が急増し、観光産業が新たな成長エンジンとして注目されている。2020年までに訪日客を4千万人に増やす目標が現実味を帯びるなか、観光産業を担う人材育成は焦眉の急だ。経営感覚を持つ観光人材育成に必要なことは何か。田村明比古・観光庁長官と観光人材育成に力を入れる沼上幹・一橋大学副学長、若林靖永・京都大学経営管理大学院院長、和田健夫・小樽商科大学長が今後の方向性を語った。



交流人口の拡大が成長維持に不可欠

観光庁長官 田村明比古氏

安傾向、ビザ発給条件の緩和、消費税免税の拡充などが奏功し、インバウンドの数は急増している。世界観光機関によると、世界中で海外旅行に12億人弱が出かけているが、2030年には18億人以上に増加する見通しだ。増大する旅行者需要を巡って世界各国がしのぎを削っている。日本の観光産業も国際競争

力を持たなければならぬ。その分だけ日本企業が国際的に事業を展開する基盤が形成できる。その二重のチャンスを生かせる人材の育成が喫緊の課題である。

一橋大はMBAプログラムを長期間にわたって作ってきた。狙いはM&A（合併・買収）や経営戦略立案を進めるトップマネジメント層を育てることだが、観光産業の場合、サービスとホスピタリティを最大化するため人材を管理するマネジメント能力も大切だ。という特徴がある。一橋大学は18年から経営管理研究科を新設するが、そこに働きながら学ぶ夜間のホスピタリティ・マネジメント・プログラムを開講する予定である。

戦略立案と経営のできる人材

沼上 インバウンドの増加は二重の意味でチャンスだ。国内市場の成長が期待できる。有星な市場であるという意味でもチャンスだが、日本のホスピタリティ産業を経験する人の数を増やすという点でも重要な転機である。日本で経験したホスピタリティを評価

若林 観光も経営なので、戦略的かつ効率的に経営を考えられる人材を育成する。MBAの基本的な枠組みは重要だ。だが、観光は正解が一つではなく、色々な可能性がある。MBA人材も必要だが、

若林 観光も経営なので、戦略的かつ効率的に経営を考えられる人材を育成する。MBAの基本的な枠組みは重要だ。だが、観光は正解が一つではなく、色々な可能性がある。MBA人材も必要だが、

和田 昨年度観光産業の中核を担う人材を育成する講座を観光庁とともに開発した。本学のMBA教育を取り入れた地方の旅館やホテルの経営者ら社会人の学び直しの講座だ。内容は研修と実践、研修



起業家精神を持ち挑戦できる人材を

京都大学経営管理大学院院長 若林靖永氏

次代の観光産業をリードする経営人材の育成強化が急務

と実践の繰り返し。エラーニングによる復習や補習ができる仕組みも取り入れた。産学官が連携して講義を担当し、受講生と交流することで様々な課題があげられ、観光産業の活性化や人材育成に関する共通の議論の素地ができる。協力できるはずだ。

田村 インバウンドの増加は観光産業の経営が成功して実現されているわけではなく、

田村 インバウンドの増加は観光産業の経営が成功して実現されているわけではなく、

田村 インバウンドの増加は観光産業の経営が成功して実現されているわけではなく、

田村 インバウンドの増加は観光産業の経営が成功して実現されているわけではなく、

大学の視点で業界発展に力を

沼上 観光MBAや観光教育は導入期だ。事例や教材を国の資産として蓄積していくため産学官の連携は欠かせない。観光産業全体を育成するため、先端的な観光企業にも

田村 我が国の観光産業は成熟した国内観光を相手にしてきた。そこに、インバウンドがもたらす新たな市場が生まれ、開拓の余地も極めて大きい。さらに、成熟したと思われている国内観光もインバウンドに対応することで、日本人の顧客にも新たなサービス

田村 我が国の観光産業は成熟した国内観光を相手にしてきた。そこに、インバウンドがもたらす新たな市場が生まれ、開拓の余地も極めて大きい。さらに、成熟したと思われている国内観光もインバウンドに対応することで、日本人の顧客にも新たなサービス

田村 我が国の観光産業は成熟した国内観光を相手にしてきた。そこに、インバウンドがもたらす新たな市場が生まれ、開拓の余地も極めて大きい。さらに、成熟したと思われている国内観光もインバウンドに対応することで、日本人の顧客にも新たなサービス

田村 我が国の観光産業は成熟した国内観光を相手にしてきた。そこに、インバウンドがもたらす新たな市場が生まれ、開拓の余地も極めて大きい。さらに、成熟したと思われている国内観光もインバウンドに対応することで、日本人の顧客にも新たなサービス

田村 我が国の観光産業は成熟した国内観光を相手にしてきた。そこに、インバウンドがもたらす新たな市場が生まれ、開拓の余地も極めて大きい。さらに、成熟したと思われている国内観光もインバウンドに対応することで、日本人の顧客にも新たなサービス

田村 我が国の観光産業は成熟した国内観光を相手にしてきた。そこに、インバウンドがもたらす新たな市場が生まれ、開拓の余地も極めて大きい。さらに、成熟したと思われている国内観光もインバウンドに対応することで、日本人の顧客にも新たなサービス

田村 我が国の観光産業は成熟した国内観光を相手にしてきた。そこに、インバウンドがもたらす新たな市場が生まれ、開拓の余地も極めて大きい。さらに、成熟したと思われている国内観光もインバウンドに対応することで、日本人の顧客にも新たなサービス

観光MBAを平成30年度に向けて設置準備中

・一橋大学大学院商学研究科「ホスピタリティ・マネジメント・プログラム（仮称）」
・京都大学経営管理大学院「観光経営科学MBAプログラム（仮称）」

受講者募集

～地域でがんばる次世代の宿泊経営者を応援します～ 観光産業を担う中核人材育成講座

観光庁では、地域経済や雇用創出において大きな役割を担う宿泊産業の強化・発展を推し進める次世代経営者育成のための講座を地域の各大学と連携して開講します。本講座は、旅館・ホテルの次期経営者（後継者を含む）、役員や管理職といった経営幹部候補のマネジメント力強化を目的としております。ぜひ、自身の知識やノウハウ習得、スキルアップの場として、または社員教育の機会としてご活用ください。皆さまからの積極的なご参加をお待ちしております。

小樽商科大学

会場：小樽商科大学札幌サテライト（第1、第2ターム内 11/17、第3ターム）
ザ・ウインザーホテル洞爺（第2ターム内 11/18、19）

●カリキュラム（予定）

日程	時間	科目内容/講師
第1ターム「観光政策と戦略、マーケティング」		
2016年10月11日(火)	13:00～17:30	講演「旅館・ホテル経営の実学」/日本旅館協会会長 針谷了
10月12日(水)	9:00～17:30	経営戦略論/小樽商科大学大学院（ビジネススクール）教授 李済民
10月13日(木)	9:00～17:30	経営戦略の実践/地域の魅力研究所理事 近藤貴弘
		マーケティング論/小樽商科大学大学院（ビジネススクール）教授 近藤公彦
		外国人観光客誘致による地域活性化/レインボウハブリング 代表取締役 川端祥司
第2ターム「財務分析、現場視察を兼ねた特別講義」		
11月17日(木)	13:00～17:30	旅館・ホテルの収支・財務・資金調達/日本政策投資銀行北海道支店長 松嶋一重
11月18日(金)、19日(土)	14:00～19:00	ザ・ウインザーホテル洞爺での特別講義
		理想のリゾートホテルを目指して/サフィールホテルズ 常務取締役 佐藤徹
		北海道の食とブランド戦略(洞爺湖サミットアレンジメニュー試食と関連講義)/ザ・ウインザーホテル洞爺総料理長 飯島豪
		館内視察他
第3ターム「ビジネスプラン発表会と特別講演」		
2017年3月8日(水)	13:30～18:00	エクスペリエンス・マーケティングの実践/マーケティングコンサルタント 藤村正宏
		サービス産業の労働生産性革新/サービス産業革新推進機構代表理事 内藤耕
3月9日(木)、10日(金)		受講者によるビジネスプラン発表会/小樽商科大学大学院（ビジネススクール）講師陣による講評
		お客さま密着して地域に貢献する十勝バスの取組み/十勝バス 代表取締役社長 野村文吾

和歌山大学

会場：公益財団法人日本ケアフィット共育機構 大阪事務所 または 阪南大学あべのハルカスキャンパス

●カリキュラム（予定）

日程	時間	科目内容/講師（科目順・講師は事情により変更になる場合があります）
10月8日(土)	11:00～16:45	観光産業概観 宿泊事業と観光政策/観光庁 宿泊事業の経営戦略/橋本俊作
10月22日(土)	11:00～16:45	宿泊事業の会計と財務/八島雄士（和歌山大学） 旅行業と宿泊業の関係・OTAとの関係 宿泊事業経営の面白さ/横田浩（元白浜温泉むさし総支配人）
11月12日(土)	11:00～16:45	宿泊事業のマーケティング/李貞順（阪南大学） 宿泊事業の革新 ビジネスプランの設定とそのためのグループディスカッション
11月26日(土)	11:00～16:45	宿泊業と従業員・労働生産性の向上 海外から見た日本の宿泊/小野田金司（神戸山手大学） インバウンドの実態・FIT化への対応/村山慶輔（やまごころ）
12月17日(土)	11:00～16:45	ビジネスプラン発表に向けてのグループディスカッション ビジネスプラン発表と講評 ビジネスプラン発表と講評・修了式

大分大学

会場：ホルトホール大分・サテライトキャンパス

●カリキュラム（予定）

日程	時間	科目内容/講師
第1ターム		
2017年2月6日(月)	13:20～17:00	講演「日本の観光政策」/観光庁 講演「旅館経営の哲学と科学」/日本旅館協会会長 針谷了
2月7日(火)	13:30～17:20	グループワーク・ビジネスプランの組み立て 旅館・ホテルの財務・資金調達 宿泊業の経営戦略を考える /大分大学経済学部准教授 仲本大輔
第2ターム		
2月15日(水)	13:00～17:50	宿泊業のおもてなし(仮) 旅館・ホテルの人材育成 サービスマーケティング/大分大学経済学部教授 松隈久昭
2月16日(木)	10:30～16:45	宿泊業における再生・活性化(仮) ビジネスプランのプレゼン準備 受講者によるプレゼン 修了式 (詳細は、9月中旬に大分大学経済学部のホームページに掲載予定)